



・ 犯罪の起きにくい環境をつくら
 ・ 避難所での作業は、男女共同で行
 おう

・ 避難所での作業は、男女共同で行
 きましょう。

また、物資の配分や炊き出しなど
 の避難所での作業は、男女共同で行
 きましょう。

・ 女性の目線から意見を述べるな
 ど、避難所の運営に積極的に参加し
 ます。

・ 暗がりや死角をなるべく避けて復
 讐で行動しましょう。

・ 万が一、犯罪に遭いそうになっ
 たら、大声を出して周囲に助けを求め
 ましょう！(不審者は大きな音や声
 が苦手です。)

・ 自宅に戻る場合も、家の中に不審
 者が潜んでいるかもしれないので、
 注意が必要ですよ。

また、子供の遊ぶスペースを確保
 し、大人が交代で見守り
 ましょう！

～ 参加しよう！～



・ 一人で行動しない
 ・ 一旦帰宅する際にも注意
 ・ 交代で子供を見守ろう

～ 防ごう！～



・ 直接もしくは避難所の相談員など
 を通じて警察に通報
 ・ 緊急事案は、その場で110番！

万が一被害に遭ってしまったら、
 更なる犯罪をうまないために、す
 ぐに警察に通報し、被害を届け出ま
 しょう。安全な場所でお聞きし
 ます。

どうしても通報しにくい場合は、
 センターの相談員などを通じて通
 報してください。

～ それでも被害に遭ったら～



・ 避難者名簿の記載に注意
 ・ 警察に居場所を伝えておこう
 ・ 未相談の方は必ず警察に相談を！

避難者名簿は、相手方の目に触れ
 る可能性も考えて、記載には注意し
 てください。記載する場合は、名簿
 に安否確認時の個人情報開示の同
 意、不同意について記載しましよ
 う。

DV・外カ-事案は急展開し、凶悪
 犯罪に至る可能性があります。まず
 警察に相談し、居場所を伝えて助言
 に従ってください。

～ DV・ストーカー被害者の方へ～

防災女子

防災防犯マニュアル
 ～ 赤のまもり～

(作成:静岡県警察災害対策課)

※番号順に点線を山折りし、財布などに入れて活用して下さい。

～ 相談について～

避難所での困りごとやトラブルに
 関する相談は、警察署又は
 所の相談窓口、

③

◇ 電話番号：0946-22-0110

◇ 電話番号：

※

～ 知っておこう！～

・ 大災害時には、女性や子供が被害
 に遭いやすい

②

避難生活が長く続くと、将来への
 不安やストレスなどから、トラブル
 が起こりやすくなります。

傷害事件や貴重品の盗難のほか、
 わいせつ行為等の性的犯罪なども発
 生するおそれがあり、女性や子供(男
 児を含む)の方が、成人男性に比べ
 て被害に遭いやすいことが国際的に
 知られています。

～ 被災地のみなさまへ～

このたび、被災されたみなさまに
 は、心よりお見舞い申し上げます。

警察では、過去の災害で被災者から
 寄せられた多くの要望や意見を受け
 止めるとともに、みなさまが避難生活
 において、更なる犯罪等に巻き込まれ
 ることがないよう、この「赤のまもり」
 (女性、子供の防災防犯に特化したマ
 ニュアル)を作成しました。

避難生活での不安が少しでも解
 消されますよう、是非、ご活用くだ
 さい。

